

## 調査報告書

- 1 とき：2012年5月25日
- 2 行先：緑市民病院
- 3 参加者：山口清明、さはしあこ
- 4 主な内容
  - ・ 神谷 保廣病院長、病院局 佐々主幹と懇談および施設見学、外来患者調査
  - ・ 緑市民病院の立ち位置・・・当たり前の病気、よくある病気を診る、「人の集うコミュニティとして市民に貢献します。」という理念の下、地域医療支援型をめざす。
  - ・ 6月に第一回運営協議会開催・・・市民参加の運営協議会が6月21日に開催予定。市民の要望を聞く場として、年2回の開催、それ以外にも市民講座を開くなど、積極的に地域住民とともに病院を作り上げていくことを念頭に置いて運営。
  - ・ 「住民のみなさんに病院を育ててほしい」「自分たちの病院と思ってもらえる緑市民病院にしていきたい」と、住民のみなさんの声を大事にした病院づくりをめざす院長の決意がうかがえる。
  - ・ 今後のクリアするポイント・・・電子カルテの導入など、4～5年のスパンでロードマップ作成、急性期医療としてDPCの対応、病院スタンダードなど。
  - ・ 現在、病床100床を、150～200床を目標に向かって進めていく。
  - ・ 看護師の確保・・・潜在看護師の発掘、オリエンテーションを実施、能力の向上。職員とのコミュニケーション。